

センダンの絆

年の瀬十二月・師走

平成二十六年、十二月を迎えて残すところ一か月となりました。

この一年も皆様にとつて最良の年であつたとことと思ひます。

さて、十二月は「師走」と言われ「師も走り回るくらいせわしい」ことなどの由来が多くあります。師走の「師」がだれを指すかによつて意味が違つてくるそうです。後、ひと月の瀬で忙しくなりそうです。

さて、学校では、二学期終了に伴い、学習や生活面の締めくくりとなっています。やり残しや取りこぼしがないよう気を配りながら終えたいと思ひます。また、ご家庭においても、こ

の一年間で頑張つたことをほめてあげてください。子どもはほめてあげることにより更に意欲的になり成長するものです。

見事にできたよ～音楽発表会

去つた十一月二十三日は、地域や保護者の皆様が大勢お越し頂き、誠にありがとうございました。

子どもたちは、日頃取り組んできた練習の成果を充分に発揮し、どの学年も見事な演技・演奏で



平成26年
月号
校長 室

2 年 生



幕開け 三線クラブ

した。とても満足する表情でした。また、例年のクラブ等の発表も素晴らしく、ご指導くださつていらっしゃる地域ボランティアの皆様には深く感謝しています。ありがとうございました。

1 年 生



4 年 生



3 年 生



5 年 生



全員合唱

「人権の花」運動

「三年生 仲井間梨里」
十一月十一日迎土名小学校であつまつて、じんけんの花のうえつけをしました。

わたしは、あなたの心にどんな花をさかせたいですかと、しつもんされました。

わたしは五つの花をぜんぶかきました。

一つ目は、友だち思いの花です。なぜかというと、人をむしるといけないからです。二つ目は、かそくをたいてせつにする花です。なぜ、たいせつにする花をかいたかというところをたいせつにして楽しく遊びたいからです。四つ目は、頭をはたらかす花です。頭をはたらかせて学習がよくわかるようになります。五つ目は、いのちをたいせつにする花です。いのちをまもらないと、死んでしま



静かなる挑戦

学校は今、しつとりとした空気が漂い、誰もが静かな「協同的な学び」が展開されています。子ども一人一人の学びを保障し、質の高い学びの挑戦です。

学校は、子どもたちが学び育ち合う学校、教師たちも教育の専門家として学び育ち合う学校、保護者や地域もむ学校参画し共に学び育ち合う学校を推進しています。気軽に、いつでも学校に足を運んでいただいて授業を参観してください。

①学びは新しい世界との出会いと対話、教師や仲間との対話によるジャンプである。

②教師の責任は「いい授業」をすることではない。一部の子ばかりではなく、すべての子どもの学ぶ権利を実現し、その学びを最大限に高めることである。

③学校は教師たちが学び育ち合う場所である。すべての教師が授業を公開して、専門家として成長し同僚性を構築しなくてはならない。